

評論文の構造

の構造

評論文は概して「一般的には(または××せ)と思われてゐる(いひこる)が、実は(である)」という形式で書かれてある。
教科書の文中より、この構造(パターン・型)に当てはまる構造を見つけられるだけ見つけ(最大3つ)、みんなが理解できるようじぶんの言葉で書を直してみよう。

() 頁 () 行田から

一般的には

と思われている。

しかし、実は

である。

() 頁 () 行田から

一般的には

と思われている。

しかし、実は

である。

() 頁 () 行田から

一般的には

と思われている。

しかし、実は

である。

以上の中で最も著者が主張したいものは()である。

~の番号を入れる。dfs465dssk5qdar